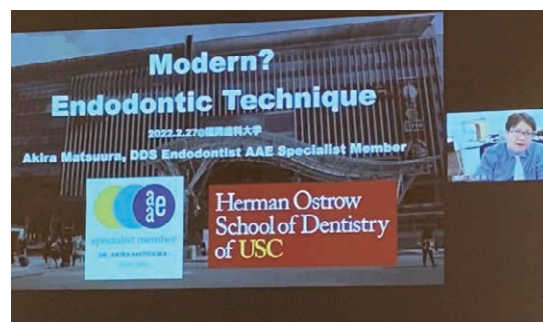


学術報告 第34回学術講演会

宮園 祥爾 (37期生)

福岡歯科大学同窓会主催第34回学術講演会は、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のためにハイブリッド形式にて国際会議場で開催することになりました。テーマは「歯内療法を見えるようにしよう」はじめに本学の口腔画像診断学分野教授 香川豊宏先生より「歯内療法における画像診断の役割」と題し、画像診断における知識や歯科用CBCTの保険点数算定方法についてご紹介いただきました。続いて、福岡市開業の松浦顯先生からは「Modern? Endodontic Technique」を、北九州市開業の倉富 覚先生からは「押さえておくべき歯内療法のポイント」をテーマに、それぞれ歯内療法の術式や症例経過について講演いただきました。

コロナ禍においても学びの場を復元することを模索し、今年度は感染対策を徹底した中、ハイブリッド形式で開催し、多くの先生方に参加していただきました。また、今年度行われた臨床スキルアップセミナーも2022年度も開催しますので、ぜひ多くの皆様にご参加いただければと思います。



同窓生からの手紙 創業と守勢

福岡歯科大学同窓会会長
吉永修 (4期生)

私が同窓会会長になり、早一期(二年)が過ぎました。新型コロナウイルス感染症が流行し、総会が一度も開催できないまま今日に至りませんでした。しかし、コロナ禍でしかできないこともあるのではないかと考え、Webにて常務理事会を月に一度行うようにしました。その結果、同窓会の仕事内容を全体的に把握でき、情報を本部役員みんなで共有することができるようになりました。また、今年度から府県会長会議を月に一度行い、横の繋がりを深めるようになりました。また各委員会は委員会が独自に事業活動、予算を考え、各支部と協力して活動の活性化を本部とともに果たしていこうと考えています。

学校法人福岡学園(福岡歯科大学)、他大学同窓会との友好な協力関係を維持しつつ同窓生(開業医、勤務医、大学関係者など)のために何が必要であるかを考え、できることから一つずつ行っていこうと考えています。

Hi! From Clinic 歯科は楽しい!

田苗 正夫 (22期生)

22期卒業の田苗です。私は入学時点で24歳(6浪!)でしたので、当初は「センパイついでに、みんな年下だよなあ」と若干腐った気持ちで入学しました。しかし、ギターが弾けたためにMAに入学した私は、当初の気持ちはどこへやら、何かと人に恵まれ、結局は楽しい学生生活を送りました。

卒業後は福岡歯科大学口腔外科の医局で4年間研修し、その後、熊本県宇城市松橋町の徳治会吉永歯科医院に4年間お世話になりました。ここで勉強することの楽しさを知れたのは、私にとっても大きな経験でした。

平成20年に就職した某医療法人の分院を平成21年に買い取り、独立開業して今年で12年になります。その間、機器や材料の進化はとどまることを知らず、研鑽を怠ればあつという間に置いていかれてしまいます。正直ついでいくのも大変ともいえますが、どちらかというと新しいもの好きな私は開業12年、卒後20年経ちますが全く飽きることがありません。未だに分らないことだらけで、毎日のように訪れる新しい経験を楽しんでいます。

この道に進ませてくれた両親に感謝しつつ、最後はこの言葉で締めたいと思います。
歯科は楽しい!

